

科目名称:	教職実践演習 (幼稚園)	
担当者名:	米川 祥子、遠州 賢、水上 和子、森田 ゆかり	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	2
授業の目的・テーマ		
<p>担当者を含む本学の複数教員と現職の幼稚園教員が担当する。保育現場へ出るにあたって不足している知識や技能などを補うとともに、現場での実践例や課題を紹介し、実際にワークや模擬保育も取り入れながら「遊びを通じた学びの大切さ」を実感する。すべての保育内容が「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」などにつながっている事を確認し、さまざまな視点から保育内容を考える。また、コミュニケーション力や表現力を高め、人と人のかかわりを楽しむ気持ちを大切にしたい。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>「学修評価シート（教職課程履修カルテ）」をもとに、教職に関する科目の入学の段階からの履修状況を踏まえ、学生一人一人の学習内容、理解度などを把握し、補完的な指導を行うことにより、実践力の向上を目指す。また、保育現場における事例をもとにした実践的な指導を取り入れ、より適時な内容を提示し、現場適応能力につなげる。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)	80		10	10	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》幼稚園園長（遠州）	《経験年数1》16年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
自分の考えの伝え方（小レポート、グループワーク、ミニプレゼンテーション）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。
省察力	保育者を目指す者として、自分を見つめようとする姿勢を身につけている。	自分を見つめる演習や授業のふり返りに積極的に参加できている。	自分を見つめる演習や授業のふり返りに参加した。	自分を見つめる演習や授業のふり返りに参加できなかった。
表現意欲	保育現場で必要とされる知識や技能を高め、即実践できる力量がある。	保育現場で必要とされる知識や技能を高めようとする努力が見られる。	やや積極的である。	積極的になるように努力を要する。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 科目概要・授業計画、「学修評価シート」をもとに自身の課題を知る（米川）	シラバスを精読しておく。	15分
第2回 ごっこ遊びから学ぼう（遠州）	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」などの指定ページ（第1回授業で告知）を読んでおく。	15分
第3回 保育現場での造形活動の課題（森田）	実習で体験した造形活動について記しておく	15分
第4回 保育現場における音楽表現活動についてのグループワーク（水上）	実習で体験した音楽表現活動についてレポートにまとめること。	15分
第5回 保育現場における音楽表現活動についてのディスカッション（水上）	実習で体験した音楽表現活動についてレポートにまとめること	15分
第6回 遊びの想像力を磨こう（遠州）	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」などの指定ページ（第1回授業で告知）を読んでおく。	15分
第7回 保育現場での造形活動を改善する視点①（森田）	1年「表現A」ワークシートを復習	15分
第8回 保育現場での造形活動を改善する視点②（森田）	1年「表現A」ワークシートを復習	15分
第9回 オリジナルを持とう（遠州）	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」などの指定ページ（第1回授業で告知）を読んでおく。	15分
第10回 保育現場における音楽表現活動の改善点（水上）	子どもの思いに寄り添うための工夫を考えること。	15分
第11回 保育者としての自覚（遠州）	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」などの指定ページ（第1回授業で告知）を読んでおく。	15分
第12回 子どもの遊びや生活における領域「表現」の位置づけ（森田）	教育・保育要領の指定ページを読んでおく	15分
第13回 保育現場で豊かな表現者を目指して（水上）	保育者として知っていて欲しいわらべ歌や童謡を調べること。	15分
第14回 2年間の学びの振り返り（プレゼンテーション）（クラス担任）	第13回までのプリントなどを整理・復習。	15分
第15回 2年間の学びの振り返り（プレゼンテーション）（クラス担任）	第13回までのプリントなどを整理・復習。	15分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（小レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小レポート10%、授業への積極的関与10%
課題に対するフィードバック
課題レポートはクラス担任を通して返却する。
教科書・参考書
「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」、「保育所保育指針」 ※毎回の授業で使用する授業内容に関する1年次からの各科目の教科書、ノート、ファイルなど